

転医症例 ～歯は並んだけど、前歯が出てきて口が閉じられない、なぜ？～

廣島 邦泰 先生

転医とは、それまで通院していた医院を変更することをいいますが、矯正治療における転医には、転居による場合や通院先の医院とのトラブルによる場合が多いと思われます。後者の場合、患者さんは不安と同時に不信感も抱かれていることが多いため、転医を受け入れる側も慎重に対応しなければなりません。

今回報告する症例は、以前かかっていた歯科医院で“拡大床矯正装置（歯の裏側にネジやバネと金属線を入れて歯を広げる装置）”を用いて、非抜歯で歯並びを拡大する矯正治療をしたところ、だんだん前歯が前に出てきて、口まで閉じなくなってきたため、心配になり来院された患者さんの再治療例です。

【症例】 当院初診時年齢 **27** 歳の女性で、「前歯が出てしまったので何とかしてほしい」と来院されました。取りはずしのできる拡大床矯正装置を使って、歯を広げる治療を行っていました。

【現症】 上の前歯だけでなく、下の前歯も前に出ており、口を閉じようとすると唇も前に突出して、オトガイ部分が突っ張って緊張した状態になっていました。上の歯並びは隙間があり、下の歯並びはでこぼこがある状態でした。下の左側の前歯（中切歯）は唇側に出ているため、約 **3** 年前に別の歯科医院で抜歯したとのことでした。そのため下の歯の正中は左側へ約 **2** ミリずれていました。

【診断・治療方針】 上突咬合、上突顎、両突歯列、叢生歯列弓

前歯や口元の突出、隙間、でこぼこを改善する目的で、上の歯の左右の第一小臼歯（前から **4** 本目）を **2** 本と下の右側の第一小臼歯を **1** 本抜歯し、上下顎スタンダードエッジワイズ装置を用いて矯正治療を行いました。

【治療結果】 治療は **2年3** か月で無事終了し、上の歯、下の歯ともに後ろに下がり、キレイな横顔になりました。それだけでなく、オトガイ部の突っ張りもなく、自然なあごになったことに満足されています。歯の隙間やでこぼこがなくなり、かみ合わせも良くなりました。レントゲンで見ると、歯の根っこは平行に並んでいて、あごの関節に変化はありませんでした。下の左側中切歯が欠損しているため、前歯のサイズがあわず、下の歯の正中が約 **1** ミリ右側にずれていますが、患者さんにお話ししたところ、とくに調整を希望されませんでした。現在は、上下に保定装置をつけて保定観察しています。

廣島 邦泰 先生

アイウエオ矯正歯科医院（三重県伊賀市 開業）